事業所名　子ども発達支援の家つなぐ

支援プログラム

作成日　6 年　11 月　1 日

法人（事業所）理念		成長著しく、生涯にわたる人間形成に極めて重要な乳幼児期であることに鑑み、子ども自身が内在的に持つ力を発揮できるよう、一人ひとりの子どもの発達状況や障がい特性に応じた支援の提供に努め、健やかな成長を目指す。		
支援方針		①毎日通園することで生活リズムを整えます。②『あそぶ・食べる・眠る』の基本的な欲求を満たします。③基本的生活習慣を身につけます。④自分でしたい！という気持ちを育みます。⑤様々な遊びを通して、たくさんの『できた！』を経験し自信につなげます。		
営業時間		8 時 0 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり　(なし)
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	・個々の健康状況を把握し、生活リズムを整えることや健康に過ごせるよう活動を計画し取り組みます。 ・身辺自立(着替え、排泄)は年齢や状況に応じ、保護者の情報も得て自立に向けた取り組みを行います。 ・物や状況に合わせた体や手指の使い方を活動の中で取り入れ、生活に必要な基本的技能の向上につながるようにします。		
	運動・感覚	・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動、動作の改善および習得、筋力の維持向上を図ります。 ・楽しく活動ができるように屋内、戸外の活動を取り入れ、場面や季節に合わせた行事や活動を行い経験を広げていきます。 ・視覚、聴覚、触覚など感覚を十分活かせるよう必要に応じたあそびを工夫し支援します。		
	認知・行動	・あそびや活動の中で「またやりたい！」「少し難しそうだけどやってみよう！」という意欲や、自ら取り組むことを大切にし「できた！」「やった！」という成功体験が積めるように支援します。 ・環境設定や理解しやすい声かけなどにより、気持ちや感情の調整ができるように支援を行います。		
	言語 コミュニケーション	・ことばにとらわれず自分なりの表現(発声や身振り、仕草、表情、態度など)で人に伝えようとする意欲を大切にします。 ・友だちや職員、周りの大人とのかかわりの中で感情を豊かに育て、意思を伝えられるようになることを目標に支援します。		
	人間関係 社会性	・安心できる大人との関係性を作ることを基盤とします。そこから周りの状況に気づき周囲の人や物への興味、関心、関わることの支援をします。 ・あそびや活動の中で、ルールや順番の理解など、周りの状況に気づき行動につながるよう支援します。 ・あそびや活動を通して楽しい経験を重ねながら、社会性、対人関係の育ち、芽生えを支援します。		
家族支援		・個別面談を通して家族の意向やニーズを聞き、必要な相談や支援、援助 ・保護者のレスパイトやきょうだい児支援	移行支援	・個別面談での進路相談、児童発達支援センターや幼稚園などに関する情報提供 ・医療機関や地域との連携
地域支援・地域連携		・実習生の受け入れ（看護大・専門学校、中学校等） ・保育園や幼稚園との交流 ・相談支援専門員や地域保健師との連携	職員の質の向上	・外部研修への参加（必須研修等） ・自立支援協議会への参加 ・所内研修（虐待防止・感染症対策・ハラスメント防止等）
主な行事等		親子遠足　親子参観　卒園式　誕生会　歯科検診　避難訓練　園外保育（遠足）　講師によるキッズダンス 季節の行事（館内プール、夏まつり、芋ほり、水あそび、節分、ひなまつり、クリスマス会、）		